

令和4年度公益財団法人船橋市公園協会事業報告書

第 4 1 期

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

法人の全体的事項

当法人は、「財団法人船橋市海浜公園管理協会」として、京葉臨海地域における社会環境の向上を目指し、緑化の推進・環境の整備を図ることを目的に昭和57年4月に設立され、船橋市海浜公園の管理運営を行った。

昭和62年11月、船橋市市制施行50周年記念事業の一環としてワンパク王国が開設されたことに伴い、同施設の管理運営を併せて行うようになり、その後、多様化する市民サービスの向上に寄与するとともに船橋市全域における事業の展開に対応するため、平成3年12月に法人名を「財団法人船橋市公園協会」に変更し、平成4年度から船橋市の都市公園及び体育施設の管理を受託している。

平成18年度からは、平成8年にワンパク王国が拡張整備され都市公園として名称も変更された船橋市アンデルセン公園及びふなばし三番瀬海浜公園において指定管理者制度が導入され、両施設の指定管理者として管理運営を行っている。

平成19年秋に開催された「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」では、船橋市の共催者として様々な事業を展開し、都市緑化の推進及び公園の緑や環境の保全を図った。

また、平成20年12月1日の公益法人制度改革関連三法の施行後、特例民法法人として法人を維持したが、公益目的事業をより強化するため、平成24年4月1日に公益財団法人へ移行した。

なお、平成29年度から、当協会が代表を務める公益財団法人科学技術広報財団との共同事業体「ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館」管理運営グループが、両施設の指定管理者として管理運営を行ってきたが、今年度からの第2期指定管理期間においても同団体と共同事業体を結成し、事業体名称を「FSPグループ」に改め、引き続き管理運営を行っている。また、ふなばし三番瀬環境学習館の活動が評価され、環境について学べる施設として令和2年度に全国的に使用されている小学校教科書（大日本図書「たのしい理科6」及び東京書籍「新しい理科6」）に掲載された。

さらに船橋市運動公園及び法典公園の指定管理者として、「ふなスポ活き生きパーク パートナーズグループ（美津濃株式会社（代表）、当協会、ミズノスポーツ

サービス株式会社、コナミスポーツ株式会社、株式会社オーチャー及びタイムズ24株式会社)」共同事業体を結成し令和3年1月から同公園の管理運営を行っている。

令和3年11月に、船橋市から当協会と公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社は、文化・スポーツ・芸術など親和性のある事業を展開し互いに持つノウハウを持ち寄り連携することが有益であるとして、両法人に対して合併を視野に入れた検討の依頼があり、両法人は同年12月に合併検討委員会を設置し、合併の効果と課題の整理に関することや新規事業の船橋市への要望や合併後の法人への支援等に関して、これまで60回の協議を行った。

一方、同委員会と船橋市とは合併に係る事業展開や人的・財政的支援についての協議も並行して行ってきた結果、令和4年12月20日付けで船橋市と両財団の合併に向けた協議内容に一定の共通認識を図ることができたことから、両財団は「船橋市と公益財団法人船橋市公園協会及び公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社との合併に向けた協議内容」をとりまとめて船橋市に提出し、受理された。

事業概要

当法人は、都市緑化の推進及び環境の整備を行うとともに、公園、スポーツ・レクリエーション施設、芸術・文化施設及び干潟の効率的な管理運営と利用の促進を図り、うるおいとやすらぎのある市民生活に寄与することを目的として事業を行ってきた。

船橋市の代表的な施設である船橋市アンデルセン公園並びにふなばし三番瀬海浜公園及びふなばし三番瀬環境学習館の各施設の特色を活かし、お客様ニーズに合った質の高いサービスを提供するとともに公平・公正な管理運営に努めたほか、指定管理施設となった船橋市運動公園及び法典公園をはじめ船橋市から受託した都市公園等についても適正な管理業務を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策において、船橋市アンデルセン公園及びふなばし三番瀬環境学習館ではお客様に対して手指消毒を推奨するとともに、船橋市の方針に応じて、船橋市アンデルセン公園では検温を引き続き実施した。

今年度は、石油や天然ガスなどのエネルギー資源の価格の高騰に伴い、指定管理施設における電気・ガス料金についても大幅に上昇したことから、指定管理者基本協定に基づき協議を行い、船橋市から当該料金の上昇分について指定管理料の追加を受けた。

1. 船橋市アンデルセン公園

船橋市アンデルセン公園の豊かな自然と各ゾーンの特色を活かした管理運営を行い、安全・安心・快適な環境づくりに努めるとともに、園内を四季折々の花々で

装飾し、花と緑にあふれた憩いの場を幅広い年代の方々へ提供した。

今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、入園ゲートでの検温の実施、アルコール消毒の徹底、お客様に一定の距離を保っていただくなど、感染症対策ガイドラインに基づき管理運営を行った。最も混雑するゴールデンウィーク期間中においては、日付指定前売券により入園者数を抑制した。

また、多様化するお客様に対応するため、昨年度に続き、アンデルセン公園内施設看板に二次元コードを2か所に貼付し、スマートフォン等を介して外国語表記の案内の充実を図った。

冬季の利用促進を図ることを目的に、デンマークグッズの販売やリースづくり体験等のワークショップを実施する北欧風クリスマスマーケットを開催する予定だったが、コミュニティーセンター空調工事のため中止とし、代替案として、ユールイベント期間中、イベント広場にキッチンカーを増やし、デンマークの食を提供した。

子ども美術館では、子どもたちが自由な発想で創作する楽しさを体験できるアトリエプログラム事業を行うとともに、新進気鋭の作家による企画展や、昨年度に続き2回目となる子ども美術館所蔵展「アンデルセンと子ども美術館展 2023」を開催し、H. C. アンデルセンの魅力を伝える展示を行った。

また、H. C. アンデルセンの魅力の一つである「切り紙」をテーマとして開催した第13回アンデルセン公園きりがみ展では、歴代の受賞作品やデンマークの子ども達の作品の展示を行い、切り紙を通してデンマークの文化を広く発信した。

さらに、「第14回アンデルセン公園きりがみコンクール」には、昨年を上回る2,112点の応募があり、アンデルセン公園きりがみ大賞をはじめデンマーク大使賞やオーデンセ市賞等合計22点の入賞作品を選出した。

加えて、新型コロナウイルスの影響で3年間延期されていた「第11回アンデルセン公園きりがみコンクール」大賞受賞者が「アンデルセンの足跡をたどる」デンマークへの旅としてオーデンセ市を訪問し、関係者との交歓を深めた。

アンデルセンスタジオにおいては、昨年度に引き続き感染症予防対策を行ったうえで、スタジオ施設を活用したワークショップ「ハンスのアトリエ」を開催し、アンデルセン童話の世界に親しみながら理解を深め、創造性を育むプログラムの充実を図り提供した。

2. ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館

平成29年度に都市公園として位置づけられたふなばし三番瀬海浜公園は、ふなばし三番瀬環境学習館、野球場、庭球場、展望デッキ、噴水広場などからなり、多様な施設の特色を活かした管理運営を行い、幅広い年代の方々が一周年を通して楽しむことができる魅力ある公園づくりに努めた。

春から初夏にかけての風物詩として定着している潮干狩事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及びあさりの供給が不安定になる可能性があっ

たため、開催期間中の土日祝日の利用者数を、1日当たり、上限4,000人と制限した結果、総利用者数は47,018人となった。

三番瀬を主テーマとして開催した「第14回ふなばし三番瀬海浜公園フォトコンテスト」には、三番瀬の自然や三番瀬から見える富士山、公園内の写真など130点の応募があり、理事長賞ほか15点の受賞作品を選出した。

その他、公園前面に広がる干潟に生息する多くの生物や植物、季節ごとに飛来する野鳥の観察会等を開催したほか、三番瀬に飛来する野鳥を題材とした野鳥カレンダーを制作、販売するとともに市内の小・中・特別支援学校に配布するなど、三番瀬の多様な魅力の発信に努めた。

また、船橋市内の他の指定管理施設や民間企業、団体との共催によるイベントを開催した。

ふなばし三番瀬環境学習館では、「知る」「考える」「学ぶ」の3つのゾーンを通して三番瀬の自然を楽しみながら学ぶことができる各施設の適正な管理運営に努めた。また、東京湾最奥部に残された貴重な干潟・浅海域である「三番瀬」の魅力を感じながら、広範な環境への関心と理解を深めてもらうことを目的に学習館オリジナルのワークシートを活用した校外学習プログラム及び、多彩なテーマを設定してのワークショップなどを多数企画し実施した。

施設面では、指定管理者応募時に提案したとおり、2階和室を会議室仕様に改修し、団体のお客様に開放したほか、特別展やワークショップで活用した。

また、夏期特別展では日本海事科学振興財団からの助成金を得て、東京湾岸各地の施設と連携し東京湾の今を伝える展示を企画し開催した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、学校団体受入時の共用器具消毒や館内の定期的な消毒を行い、またリアル型ワークショップの段階的な再開を行うと同時に、引き続きオンライン型ワークショップや動画投稿サイトをもちいたワークショップも継続し実施した。

また、SNS等を積極的に活用して情報発信を行い、当館の発信した情報を大手新聞社が報道するなど、メディアからの注目度も高まった。

これらの結果、今年度の学習館利用者数（特別展、企画展、ワークショップ、アウトリーチなどを含む）は過去2番目の実績となり、今年度の目標を達成することができた。

3. 公園管理センター

船橋市から受託した都市公園等のほか、指定管理施設である船橋市運動公園及び法典公園についても、適正な管理を行い公園の緑や環境の整備に努めるとともに、市民ボランティアによる公園花壇への草花の植え付けや管理を通して、市民の緑化推進に対する意識や知識の向上を図った。

また、公園内の樹木の枯損・枯れ枝や遊具等の巡回・点検を実施するなど、きめ細かな管理を行うことで、市民が安全かつ、安心して快適に利用できる公園環境づくりに努めた。

さらに豊かな都市景観を創造することを目的とした「花いっぱいまちかどフェア花壇コンテスト業務委託」を新たに受託し、花壇コンテストに応募してきた花壇及び庭等を審査し、併せて園芸相談と花壇づくりや植物管理のアドバイスをを行うとともに年1回の寄せ植え講習会を開催することにより、都市緑化の推進に寄与した。

このような中、今期における事業内容は次のとおりである。

事業内容

I 公益目的事業

都市緑化の推進及び環境の整備を行うとともに、公園、スポーツ・レクリエーション施設、芸術・文化施設及び干潟（以下「公園等」という。）の効率的な管理運営と健全な利用の促進を図り、併せて市民の余暇の有効活用及び健康増進を支援し、もってうるおいとやすらぎのある市民生活に寄与する事業。

ア 都市緑化推進事業

公園等において、都市緑化推進及び緑化の普及啓発のために行う各種の講座、体験活動、展示会、コンテストなどの事業。

イ 環境整備事業

自然環境の保護・整備及び自然の観察並びに自然保護に関する普及啓発を目的とする事業。

ウ 公園等の管理運営・利用促進事業

公園等の施設、植栽等の総合的な維持管理。公園等を活用した各種の講座、体験活動、展示会、コンテストなどの事業。

1 船橋市アンデルセン公園運営事業

(1) 期 間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 開・閉園日数 開園日数 321日 閉園日数 44日

(3) 入園者数

総入園者数	717,577人
有料入園者数	586,411人
無料入園者数	131,166人

有料入園者内訳

区 分	1日利用券 入園者数	パスポート 入園者数	合 計	比 率
一 般	283,976 人	70,497 人	354,473 人	60.4%
高 校 生	2,445 人	41 人	2,486 人	0.4%
小・中学生	124,285 人	14,951 人	139,236 人	23.8%
幼児(4歳以上)	71,819 人	18,397 人	90,216 人	15.4%
合 計	482,525 人	103,886 人	586,411 人	100.0%

※1日利用券入園者数＝当日入園券購入者数＋前売券購入者数

※パスポート入園者数＝パスポート2回目以降入園者数

※パスポート購入者数＝22,185人

無料入園者内訳

区 分	人 数	備 考
市内教育団体及び 団体引率者	3,350 人	
市内教育目的団体	10,782 人	
障 害 者	26,567 人	介護人を含む。
65歳以上	72,188 人	
そ の 他	18,279 人	内訳 4月2日 ※H.C.アンデルセン生誕日 2,021 人 5月5日 ※こどもの日 中止 6月15日 ※千葉県民の日 218 人 7月18日 ※こどもの日の代替 2,201 人 10月24日 市民無料開放デー 9,613 人 3月3日 ※ひな祭りの日 180 人 イベント関係入園者 1,580 人 一般招待券 951 人 さくら招待券 1,124 人 その他 391 人
合 計	131,166 人	

※中学生以下の入園料無料日

(4) 船橋市アンデルセン公園の運営事業・都市緑化推進事業・利用促進事業・環境整備事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月・回数
1	「さくらまつり」 ・アンデルセン童話をテーマにした「花の展示」 ・グリーンマーケット ・ハンギングバスケットコンテスト ・ステージショー	4月
2	「パンジー・ビオラ百選」 ・草花の展示	4月
3	「ゴールデンウィークイベント」 ・こいのぼり展示 ・ステージショー 「BONSAI・こけ玉展」 ・作品の展示、販売 ・こけ玉ワークショップ 7回 「母の日押し花教室」 2回	4月～5月
4	「草花の展示」 ・バーベナコレクション	5月～6月
5	「里山イベント 里山団」 ・田植え、自然観察会、稲刈り、収穫祭	5月～11月
6	「ラベンダースティック作り」 「ラベンダー花穂プレゼント」 「インドアガーデンの展示即売会」 「カザグルマ」挿し木講習会 「食虫植物展示即売会」 ・ステージショー	7月～8月
7	「ひまわりまつり」 ・ひまわり植栽 ・ステージショー	8月
8	「押し花展示」 ・押し花作品の展示 ・押し花教室	8月
9	「秋のイベント」 ・ステージショー	9月～11月

10	<p>「コスモスまつり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスモス植栽 ・ハロウィン装飾 ・ステージショー ・グリーンマーケット ・コスモスを使った押し花額作り教室 	10月
11	<p>「木の実のワークショップ」</p> <p>「子ども忍者道場」</p> <p>「シクラメン展示即売会」(中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花の展示、販売 	11月～12月
12	<p>「ユールイベント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスマーケット(中止) ・クリスマス装飾・ステージショー ・降雪イベント 	12月
13	<p>「チューリップまつり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬に咲くチューリップ植栽 ・正月イベント ・ステージショー 	1月
14	<p>「クリスマスローズコレクション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の展示、販売 ・ステージショー(中止) 	2月
15	<p>「さくらまつり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージショー 	3月
16	<p>「らんのふしぎ展」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の展示、販売 	3月
17	<p>「都市緑化推進イベント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の教室 	年24回
18	<p>「自然観察会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花緑ウォッチング ・里山の生き物 ・紅葉ウォッチング 	年6回
19	<p>「やぎさんショー」</p>	年5回
20	<p>「パークライブステージ」</p>	年20回

(5) ボランティア活動
活動状況

区 分	登録者数	活動日数	備 考
ガイドボランティア	15 人	74 日	延べ活動数 179 人
花と緑のボランティア	125 人	94 日	延べ活動数 3,061 人

その他のボランティア（3団体）による園内花壇等の植栽管理

(6) 国際交流事業

- ① 「第14回アンデルセン公園きりがみコンクール」を開催。アンデルセン公園きりがみ大賞をはじめデンマーク大使賞やオーデンセ市賞等合計22点の入賞作品を選出した。
- ② 「第11回アンデルセン公園きりがみコンクール」の大賞受賞者がH. C. アンデルセンの生誕地であるオーデンセ市を訪問し、ミュージアムオーデンセ（旧オーデンセ市博物館連合）の協力を得てアンデルセンの足跡をたどり、関係者との交歓を深めた。また、オーデンセ市長を表敬訪問し、事業に関する意見交換や大賞受賞者と交流を深めた。

(7) その他都市緑化推進事業

- ① ふなばし市民大学校（園芸学科）講師派遣・会場協力
- ② 船橋市緑の基本計画の施策に基づく緑化推進委員会への協力

2 船橋市アンデルセン公園子ども美術館運営事業

(1) アトリエ等運営事業

利用状況

内 容	利用者数	備 考
アトリエプログラム運営事業	90,420 人	クラフトゾーン、パフォーマンスゾーンの各アトリエ創作活動プログラム
アンデルセンスタジオ運営事業	2,140 人	ハンスのアトリエ

(2) 童話館運営事業

利用状況（無料体験）

内 容	利用者数
とくべつおはなし会	335 人
おりがみ大作戦・ぬり絵	24,593 人

(3) 子ども美術館の運営事業・利用促進事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月
1	企画展1 「しかくいけしき」重田佑介	5月～7月
2	企画展2 「白ト黒ノ間」荒井恵子	8月～9月
3	企画展3 「影と遊びのワンダー」原倫太郎+游	10月～12月
4	企画展4 「アンデルセンと子ども美術館展2023」 平野ニーナ+子ども美術館	1月～3月
5	第13回アンデルセン公園きりがみ展	4月～5月
6	常設展 「缶響アート展」津田のぼる 「木彫のせかい」関口恵美	4月～3月
7	人形劇	4月～3月
8	子ども似顔絵	5月～10月
9	畑イベント ・藍アイクラブ ・コットンクラブ ・さつまいも団	4月～11月
10	第14回アンデルセン公園きりがみコンクール (作品募集)	4月～12月
11	サマーアトリエ～夏、体験！自由研究!!～ ・アンデルセン 夏のデコパージュ ・あき缶ロボットどうぶつ王国 ・カラフルこっぱワールド	7月～8月
12	夏の展示 ・空疑似体験感情誘導装置 ～空の青さ、感じてま sky?～	7月～8月
13	令和4年度小・中・特別支援学校 夢・アート展	7月～8月
14	ヤッサン一座の紙芝居	10月
15	自然とあそぼう「くんせいキッチン」	11月
16	秋のイベント ・アンデルセンと一緒に切り紙コラージュ	11月

17	冬のイベント ・クリスマス☆デコパージュ	12月
18	お正月イベント ・達人と遊ぼう・新春のおもてなし	1月
19	大人のアトリエ ・楽しむ染め時間～草木染め・泥染め～	1月～2月
20	春のイベント ・かぶりもの工場！ ・キャンバスブローチをつくろう！	3月

3 ふなばし三番瀬海浜公園運営事業

(1) 潮干狩事業

- ① 施設の内容 潮干狩場面積 142,016㎡
 ② 開催期間は、令和4年4月21日～令和4年5月22日（21日開催）
 総利用者数 47,018人
 有料利用者数 46,323人（大人31,278人、子供15,045人）
 無料利用者数 695人

(2) 庭球場運営事業

① 利用状況

区分	利用日数	利用時間	利用人数
平日	179日	1,516時間	2,444人
土曜・日曜、祝日 法による休日	114日	4,315時間	10,216人
合計	293日	5,831時間	12,660人

② テニス教室

クラス数	受講者数
9クラス・週6日	1,483人

(3) 野球場運営事業

利用状況

区分	利用日数	利用時間	利用人数
平日	73日	256時間	1,920人
土曜・日曜、祝 日法による休日	82日	556時間	8,274人
合計	155日	812時間	10,194人

(4) ふなばし三番瀬海浜公園の運営事業・利用促進事業・環境整備事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月	参加者数等
1	ふなばし三番瀬マルシェ	5月、6月、10月	24店舗
2	フォトコンテスト	12月	130点
3	千葉ロッテマリーンズ野球教室	2月	20人
4	共催イベント（美津濃株式会社 場所：法典公園）	2月	261人
5	共催イベント（株）ニコンビジョン・ （公財）日本野鳥の会	3月	53人
6	ベイパークデイ	3月	89人

4 ふなばし三番瀬環境学習館運営事業

(1) ふなばし三番瀬環境学習館総利用者数 57,516人

常設展利用者数		35,543人	その他		21,973人
有料利用者		14,142人	特別展・企画展		14,343人
一 般	11,007人	有料利用者		4,355人	
高 校 生	70人	無料利用者		9,988人	
小・中学生	3,065人	ワークショップ利用者		7,234人	
無料利用者		21,401人	アウトリーチ利用者		396人
一 般	745人	※アウトリーチとは		館外での教育普及活動のこと（出前講座等）	
高 校 生	44人				
小・中学生	11,405人				
就 学 前	5,834人				
障 害 者 等	1,888人				
研修・視察等	1,485人				

(2) キッチンスタジオ運営事業

No.	イベント名	開催月・回数
1	船橋産食材を活用した食育プログラム（オンライン実施を含む）	12回

(3) オリジナル特別展等運営事業

No.	イベント名	開催月・回数
1	開館5周年記念講演会 「君にもできる自由研究 お魚博士の研究トーク」	8月
2	開館5周年記念特別展（夏）「大東京湾展2022」 （計画時名称「大東京湾展2」）	7月～8月
3	特別展（春）「ドキドキ！ひがた大迷路」 （計画時名称「三番瀬アドベンチャー」）	3月

(4) ふなばし三番瀬環境学習館の運営事業・利用促進事業・環境整備事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月・回数
1	企画展（春）「これでバッチリ！潮干狩り2022」	4月～5月
2	企画展（秋・冬）「#三番瀬スクラップブック」	11月～2月
3	天体観望会（オンライン実施を含む） （天候不順により実施回数減）	9回
4	野鳥観察会 （オンライン実施を含む）	11回
5	観察会（干潟, 植物, 昆虫, 企画展関連, その他） （オンライン実施を含む）	35回
6	ワークショップ・講座等（オンライン実施を含む）	47回
7	工作教室等（企画展関連、オンライン実施を含む）	93回
8	その他体験（企画展関連、オンライン実施を含む）	90回

5 船橋市からの受託事業等

(1) 公園等管理事業及び緑化推進事業（公園管理センター）

① 船橋市の指定管理者として管理運営を行った都市公園（2か所）

分類	公園等名称
指定管理施設(2か所)	船橋市運動公園、法典公園

② 法典公園で実施した都市緑化推進イベント

- ・草花の押し花を用いたしおりづくり 2月

③ 船橋市から受託した都市公園等の管理事業（50か所）

分類	公園等名称
地区公園（1か所）	若松公園

近隣公園 (11 か所)	小室公園、高才川緑地公園、坪井近隣公園、夏見台近隣公園、御滝公園、高根木戸近隣公園、北習志野近隣公園、薬円台公園、田喜野井公園、西船近隣公園、大穴近隣公園
街区公園 (21 か所)	小室北公園、小室南公園、小室西公園、豊富町公園、鈴身町つつじ公園、緑台中央公園、高根台さくら公園、高根木戸第2号公園、高根木戸第3号公園、高根木戸第4号公園、北習志野第7号公園、北習志野第8号公園、宮本台公園、宮本台北公園、宮本南公園、池の端公園、天沼弁天池公園、勝間田公園、海神町2丁目公園、本郷公園、高根木戸第1号公園
緑地 (3 か所)	小室緑地、東船橋花輪緑地、高瀬町緑地
体育施設 (10 か所)	豊富まちかどスポーツ広場、高瀬町まちかどスポーツ広場、若松公園体育施設、高根木戸近隣公園庭球場、北習志野近隣公園庭球場、行田運動広場、高瀬下水処理場上部運動広場、藤原まちかどスポーツ広場、古和釜町まちかどスポーツ広場、大穴まちかどスポーツ広場
その他 (4 か所)	小室調節池、小室緑道、小室歩行者専用道、歩行者専用道

④ 市民協働による花壇管理事業

- ・坪井近隣公園、天沼弁天池公園

⑤ 船橋市主催イベントにおける講習会事業

- ・天沼弁天池公園「緑と花のジャンボ市」 4月・10月

⑥ 腐葉土用落ち葉の配布事業

- ・小室公園

(2) 人工海浜管理事業 (ふなばし三番瀬海浜公園地先)

① 監視業務

監視面積 406,000㎡ (350m×1,160m)

② 清掃業務

清掃面積 58,950㎡ (50m×600m) 30回
(25m×560m) 14回
(65m×230m) 14回

③ 整地業務

整地面積 44,000㎡ (50m×495m) 2回
(50m×105m) 1回
(25m×560m) 1回

④ 総合管理業務

管理時間 2,872時間 (359日×8時間)

II 収益事業等

当協会の公益目的事業の推進に資するため、公園等における駐車場の管理運営、売店等の管理運営、遊戯施設の管理運営を行い、お客様の利便を図る事業。

1 駐車場施設の管理運営事業

(1) 船橋市アンデルセン公園

① 収容台数 1, 100台

② 利用状況（臨時駐車場利用含む）

区 分	利用台数
大型自動車（マイクロバスを含む）	1,621台
普通自動車	187,265台
合 計	188,886台

(2) ふなばし三番瀬海浜公園

① 収容台数 408台（第一駐車場）

② 利用状況（臨時駐車場利用含む）

区 分	利用台数
大型自動車（マイクロバスを含む）	289台
普通自動車	48,722台
合 計	49,011台

2 売店等施設の管理運営事業

(1) 船橋市アンデルセン公園

区 分	設 置 数	内 容
常設売店	12店舗	飲食10店舗 物販2店舗
臨時売店	4店舗	飲食4店舗
食堂	1店舗	レストラン
自動販売機	41台	飲料39台 食品2台

(2) ふなばし三番瀬海浜公園

区 分	設 置 数	内 容
常設売店	5店舗	飲食4店舗 物販1店舗
臨時売店	2店舗	飲食1店舗、グッズ貸出1店舗
バーベキュー場	1事業者	114区画
自動販売機	8台	飲料6台、飲料・菓子・雑貨類2台

※バーベキュー場利用者：27,607人

（楽ちんエリア14,161人・もちこみエリア13,446人）

(3) ふなばし三番瀬環境学習館

区 分	設 置 数	内 容
食堂	1 店舗	レストラン
自動販売機	1 台	飲料

3 遊戯施設運営事業

(1) 船橋市アンデルセン公園

利用状況

区 分	利用者数等
ポニー乗馬運営事業	20,937 人
パターゴルフ広場運営事業	12,853 人
貸しボート運営事業	20,966 回
ドッグラン運営事業	12,429 頭
ベビーカー運営事業	2,860 回
ロッカー運営事業	1,215 回
ミニカー運営事業	68,216 回
変形自転車運営事業	54,107 回
ミニ鉄道運営事業	100,704 人
フアファ運営事業 (中止)	__回
ジャンボアンパンマン運営事業	4,509 人
サファリペット運営事業	5,764 人

(2) ふなばし三番瀬海浜公園

利用状況

区 分		利用回数
ロッカー運営事業	テニスクラブハウス	15 回
	園内中央通路	2,028 回
観光望遠鏡設置事業	展望デッキ屋上	2,980 回
ミニカー運営事業	園内中央通路	7,501 回
三番瀬ガチャ事業	学習館内・展望デッキ内	396 回

Ⅲ 施設の修繕等

1 船橋市アンデルセン公園

- ・アスレチック修繕業務
- ・メルヘンの丘園路修繕業務
- ・ワンパク城ローラーすべり台修繕業務
- ・ワンパク王国ゾーントイレ内ベビーシート修繕業務
- ・メルヘンの丘消防設備スピーカー修繕業務
- ・メルヘンの丘土橋修繕業務
- ・どうぶつふれあい広場木柵部分修繕業務
- ・メルヘンの丘污水处理施設急速混和槽攪拌機修繕業務
- ・ワンパク王国污水处理施設液中膜カートリッジ修繕業務
- ・子ども美術館吸収式冷温水発生機漏洩箇所調査・液面制御機器修繕業務
- ・子ども美術館吸収式冷温水発生機用抽気ポンプ修繕業務
- ・子ども美術館浄化槽施設放流ポンプ修繕業務
- ・子ども美術館B 2 空調機械室防火ダンパー修繕業務
- ・子ども美術館他消防用設備修繕業務
- ・童話館他消防用設備修繕業務

2 ふなばし三番瀬海浜公園

- ・噴水広場デッキ床修繕業務
- ・放送設備修繕業務
- ・自家用発電機蓄電池修繕業務
- ・環境学習館監視カメラ修繕業務
- ・環境学習館防火シャッター中継器用蓄電池交換業務
- ・環境学習館2階和室修繕業務

<附属明細書の作成について>

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている事業報告の内容を補足すべき重要な事項が存在しないため附属明細書は作成しない。